

広聴広報委員会会議記録（概要）

令和8年6月17日（水）

開 会（午後4時15分）

【議 事】

○市議会だよりについて

石本亮三委員
長

前回の委員会で表紙の候補者を会派持ち帰りとしておりました。候補者がいる方は報告をお願いします。もしいない場合は、私から所沢市出身のガールズ競輪の選手として活躍している高橋梨香さんという女性の選手がいます。市内に約30年住んでおり、1979年生まれで、ベテラン選手として長く活躍しています。所沢市へチャリティー寄附を行うなど地元貢献もされている方で、先日お会いしてきました。競輪はオリンピック競技になっているスポーツですが、まだギャンブルのイメージをお持ちの方もいらっしゃるということで、西武園競輪も近くにございますので、そういう世界を知っていただきたいということで、高橋選手を推薦しますがよろしいですか。

（委員了承）

石本亮三委員
長

次に、市議会だよりの全戸配布についてです。令和8年第2回（2月）定例会議の予算常任委員会において、配布業者は、民間の配付業者もあるが、そういった選択肢はないのかとの質疑がありました。支出は市となりますが、市議会だよりの編集担当は広聴広報委員会となるため、現状の確認をしたいと思います。事務局より現状の説明をお願いします。

議会事務局

全戸配布につきましては、現在は高齢者雇用確保のため、また、5日間で全戸配布する必要がありますことから、「広報ところざわ」や「水物語り」「家庭の資源とごみの分け方・出し方」「選挙関連」などの全戸配付の実績があり、配付の可否の世帯などの状況も把握していることなどを踏まえ、シルバー人材センターの1者随契としているところでございます。

石本亮三委員
長

私としても、高齢者雇用の確保は重要と考えますし、何より、全戸配布の実績があり、確実にかつ短い時間で配付が可能なシルバー人材センターにお願いすることはよいのではないかと考えますが、いかがでしょうか。意見がなければ広聴広報委員会としては引き続きシルバー人材センターにお願いすることが望ましいとの意見でよろしいでしょうか。

(委員了承)

○議場コンサートについて

石本亮三委員
長

今年も12月定例会議の初日の開会前に議場コンサートを開催することです。よろしいでしょうか。

(委員了承)

石本亮三委員
長

次に演奏者ですが、前回の広聴広報委員会で松本委員から入江新一郎氏はどうかとの提案を受けましたが、他に候補者はいますでしょうか。

長谷川礼奈委
員

M-1グランプリにも出場しているストレッチーズというコンビの高木貫太さんが所沢市出身で、牛沼小学校、東中学校を卒業しています。M-1グランプリでも良い成績を残しており、コンサートではないですが漫才を披露してもよいのではという提案です。

石本亮三委員
長

議場コンサートを始めて12年ほど経つことから、コンサートではなく漫才はどうかとの斬新な案も出ました。松本委員の推薦の方に改めて確認していただき、もし駄目ならば漫才はどうかということを会派に持ち帰ってください。

○高校生を対象とした議会報告会について

石本亮三委員
長

7月17日（金）開催の所沢西高校の意見交換会のタイトルは先方の希望により「10年後に向けて所沢市をどのようにしていきたいか」となりました。

7月24日（金）開催の所沢高校の意見交換会のタイトルは先方の希望により「住み続けたいまちとは」となりましたので、報告します。

○今年の政策討論会について

石本亮三委員
長

11月14日（土）開催の政策討論会について、座長よりタイトルは「議員になってみてわかったこと～1期目議員の本音～」との提案がありま

したが、皆さんいかがでしょうか。

(委員了承)

石本亮三委員
長

また、ポスターですが、当初は市議会だよりに掲載する予定でしたが、議会報告会のポスターがまだ決まっていないため、政策討論会及び議会報告会の記事は参加者の写真を市議会だよりに掲載することとしましたので、よろしくお願いします。

○今後の議会報告会及び政策討論会の在り方について

石本亮三委員
長

5月25日の広聴広報委員会で提出をお願いしていた会派の意見集約について、4会派より提出がありました。先日、神戸委員から遅れて提出したいという話があり、また、先ほど矢作委員からも私に話がありましたが、申し訳ありませんがこの件に関しては期日を守った会派もございますのでお断りをしました。今回は期日を守っていないので、何かあればそれだけはお聞きしますが、よろしいようですので、このまま議事を進めます。

4つの会派から提出がありましたので、こちらについては皆さんに配信しています。これをベースに進めていきたいのですが、その前に、今後の検討スケジュール（案）を確認したいと思います。

本日6月17日が各会派意見の確認、次回が7月23日で校正会議の日ですが、会派の意見を比べてきていただきたいと思います。その後、8月25日、9月の広聴広報委員会で論点を絞り込み、委員会案の集約をして

いきたいと思っています。そして10月に案をまとめ、11月に政策研究審議会へ諮問したいと思います。その後、答申をもらった形で最終案を固めていきたいと思っています。11月に政策研究審議会へ諮問すると答申をもらえるのが1月頃になります。1月か2月の広聴広報委員会で答申を確認して最終的に整理をし、そして2月の議会運営委員会に報告し、要綱等の改正が必要ならば改正をし、遅くとも3月に全議員へ報告して、来期で運用開始していくというスケジュールで進めたいと思います。ここまでで質問等ございますか。

矢作いづみ委員

政策研究審議会に諮問することについてはよいと思いますが、議会報告会と政策討論会の在り方を考えていくというところでは、市民参加が大変重要になると思います。広聴広報委員会なので、案をまとめていく段階でも、市民参加の可能性をきちんと入れていかなくてはと思いますがどのようにお考えですか。

石本亮三委員長

実際の話として、それを考えた時期もありましたが、このスケジュールではほぼ限界です。パブリックコメントは1か月かかるので、3月の報告に間に合いません。これも限界のスケジュールですから、以前もお話ししましたが、議会基本条例を改正するとなれば、パブリックコメントはしなくてははいけません。このスケジュールの場合、条例改正はほぼ無理です。

矢作いづみ委員

委員長のおっしゃることも分かりますし、スケジュールというのも分かりますが、市民に関わる問題ですから、11月の政策研究審議会が何日になるか分かりませんが、一般市民向けの議会報告会が11月にある中で、広聴広報委員会ですから広聴していくというのは非常に重要なポイントだと思いますので、市民参加の形はどこかで入れていかないと、議会だけで進めていくのは少し不十分になっていくかと思います。

福原浩昭委員

例えばメールやネットで御意見をいただいて、それを委員会で確認するということでも私は良いかと思います。

矢作いづみ委員

今の福原委員の御提案はこれから議会だよりを発行するので、そういう機会や SNS を使ってというイメージですか。

福原浩昭委員

やり方はいろいろとあると思いますが、時間的なことを考えるのであれば、御意見を聞く機会というところでネットを使って、こういう意見がありましたということを挙げてもらうのは良いと思います。

秋田孝委員

どちらにしても政策研究審議会にお願いして、どういう答申が返ってくるか分からないので、それを待ってからでもよいのではないですか。

中井めぐみ委員

最終案作成の後に御意見を聞いて変更することは可能なんではないでしょうか。

石本亮三委員

答申をもらうので、ここを変えたほうがよいという話になれば、1月に答申を受領した後、委員会で答申を確認して、それについて微調整は入るかもしれません。

中井めぐみ委員

やはり微調整ということになるので、方向性案の提示後ぐらいにはもう少しお聞きしたほうがよいと私は思います。それでどうやってお聞きしていくかというところは、7月23日に方向性案提示となっているので、この段階で市民の方から、御意見をいただいたほうがよいと思いますが、いかがでしょうか。

石本亮三委員

方向性がここで提示できるかどうかは難しいと考えますので、8月25日と9月に広聴広報委員会の中で意見交換を考えています。

松本明信委員

市民の意見をというのは分かりますが、政策研究審議会にかけるといふ重みがあるので、このスケジュールで政策研究審議会に諮問することを優先してよいのではないのでしょうか。

谷口雅典委員

福原委員の提案のやり方をうまく組み合わせられれば組み合わせれ

ばよいし、それがなかなか厳しければ、我々の中で市民の方たちと日常接点があるので、そういったところから意見を反映することも可能ではないかというふうに思います。

福原浩昭委員

市民の方から意見を聞くタイミングとしては、先ほど話に出ましたけど、まず我々がどういう考えでやってみたいということが決まらないと、おそらく聞けないと思います。そのタイミングとしては意見交換が終わり、案が決まった後で、なおかつ政策研究審議会の中でこういう議論があり、こうすべきというのがあって、それに対する意見を聞くというタイミングでも遅くないかなと思います。それから、市民の意見を聞くという工程は入れましたということをきちんと入れてあげれば、それを参考にするということですから、この政策研究審議会についても、このとおりにしますというわけではないと思います。諮問はあくまで参考にすることなので、そういったことでは市民の方の御意見を聞くタイミングとしてはこの政策研究審議会が終わった後でも良いかなとは思いますが。

神戸鉄郎委員

私も福原委員とほぼ考え方は同じで、我々の考えがしっかり揭示されないと市民の方もアウトプットできないので、政策研究審議会の後で御意見を伺うということによろしいかと思えます。

石本亮三委員

今期になって政策研究審議会を開いたことがないので、1期目の議員5人いらっしゃるんですけど、イメージが湧かないと思います。諮問するときも、事前に資料も用意しますし、当日15分ぐらいは説明します。例えば広聴広報委員会でこういう意見が出てきましたとか、議会報告会の在り方でも、他の市議会から数多くの視察が来て、皆さん悩まれているとか、そういうことも言われてみないと委員の方も分からないと思うので、市民の方の御意見を聞くかどうかは別として、ここまでのスケジュールで政策研究審議会に諮らせていただくことでよろしいですか。

(委員了承)

石本亮三委員
長

議長に政策研究審議会に諮問するということを報告させていただきます。

そして、主な検討事項として、今日は協議しませんが、議会報告会、政策討論会も共通で、改めて開催目的の再確認をするべきだと思います。議会報告会では開催対象、年4回の開催の妥当性、若年層の参加、事務局負担軽減、政策討論会では開催目的、討論会の在り方、成果の活用、市民参加、事務局負担軽減。この検討事項は過去の会議録を参考に広聴広報委員会の協議を統合するとこのような論点に行き着くという考えに基づいています。

どちらかというと私が問題と考えているのは政策討論会です。今期では、自主的にやっていただいたのは植竹議員が委員長をされていた市民文教常任委員会のみで、4回中3回は自ら手を挙げて委員会でやってく

ださった政策討論会ではありませんでした。そのため私は政策討論会のほうが深刻だと思っておりますので、改めて成果の活用とか市民参加とかこの辺も非常に論点になってくると思っております。

委員会として改めて確認しておきたいのが、開催回数だけではなく開催目的を共有できているのかとか、若年層参加の手法は適切なのか、持続可能な制度となっているのかということで、一度見直せばしばらくは変わりませんからこの辺が論点になるのかと考えておりますので、御了承願いたいと思います。

矢作いづみ委員

先ほど委員長が市民参加をさておいてとおっしゃって、政策研究審議会に諮問することは確認されましたが、市民参加をどうするかということとを今日でなくともきちんとスケジュールに入れていただきたいと思います。

石本亮三委員長

この後のまとめり具合によります。10月にまとまるかも分かりませんので。

矢作いづみ委員

市民意見を聞かないで進めることは私はあり得ないと思っておりますので、そこを委員長としてぜひ、スケジュールがタイトなのは分かりますけれども、諮問をした後でもパブリックコメントという形ではなくても、先ほど福原委員からも御提案ありましたけれども、様々な形がある

と思うので、そこはきちんと位置付けていただきたいと思います。

石本亮三委員
長

答申が出た後というイメージですか。

矢作いづみ委
員

出た後でもいいですし、例えば政策研究審議会に諮問をしていますという発信の仕方もあるかとは思いますが。

秋田孝委員

先ほども申し上げましたけれども、政策研究審議会にこちらから諮問して、委員はどのような答えを出してくるか分からないので、まずそこからではないですか。もともと何日までと期限を設けて各会派で意見を出してくださいと、そういう話もして、私たちの会派はきちんと出していますし、出していない会派もあるみたいですけど、それを踏まえて議事を進めてください。

矢作いづみ委
員

秋田委員からの御意見もありますけれど、政策研究審議会の答申が出た段階でも、できることはあると思いますので、そこはぜひくんでいただきたいと思います。

石本亮三委員
長

私としてはどういう答申が出るのか分かりませんし、答申の出る日にもまだ分かりませんが、意見を聞けるタイミングがあればこの答申が

出たあと聞くかもしれないということで、とりあえずここまでのスケジュールについては今日御了承いただきたいです。

なお、4会派からの意見は次回までに確認してきてください。そしてできれば事前に質問があったら委員長もしくは事務局に御連絡いただければと思います。

○その他

石本亮三委員
長

ところざわこども会議の参加者による議場見学についてです。先日「ところざわこども会議」の事務局である教育委員会の社会教育課より、今年も市内小学生を対象に議場見学と議会の紹介をお願いできないかとの相談が議会事務局にありました。昨年は令和7年8月5日に「こどもルネサンス議場見学会」を開催しました。前回の課題として小学生3年生から6年生と対象の幅が広く、説明等が難しい現状がありました。そこで、先方に小学校6年生のみでの開催は難しいかの状況確認を事務局をとおして相手方にお伝えしましたところ、小学校5年生、6年生であればいかがかとの回答がありました。現在、議会報告会の在り方などを議論していくこととしており、まだ方向性も見えていないところではございます。今回の議場見学についてお受けするかしないか含めて御意見ををお願いします。

長谷川礼奈委

私は2回とも担当しているので、多分一番分かっていると思います

員

が、さすがに小学3年生、小学4年生だともうこどもの面倒を見ているという感じで議会を伝えるというのは趣旨が違ってきて、5、6年生だったら可能ではないかなと思います。

矢作いづみ委

5、6年生対象ということでぜひやったらよいと思います。

員

石本亮三委員

候補日は8月4日（火）として、先方に確認します。対応可能な方は

長

広聴広報委員でなくともかまいませんので、会派に持ち帰っていただいて明後日までに私へ報告をお願いします。

散 会（午後4時53分）

広聴広報委員会

令和8年6月17日(水)

開 会 午前 ・ 午後 4時15分
散 会 午前 ・ 午後 4時53分
場 所 全員協議会室

委 員 長	石 本 亮 三	✓
副 委 員 長	山 口 浩 美	✓
委 員	斉 藤 かおり	✓
〃	神 戸 鉄 郎	✓
〃	中 井 めぐみ	✓
〃	矢 作 いづみ	✓
〃	長谷川 礼 奈	✓
〃	松 本 明 信	✓
〃	谷 口 雅 典	✓
〃	福 原 浩 昭	✓
〃	中 毅 志	✓
〃	秋 田 孝	✓

議 長	粕 谷 不二夫	
-----	---------	--

●出席表

【広聴広報委員会】 令和 8 年 6 月 1 7 日

議会事務局		
部局	職名	氏名
議会事務局	主査	谷口 周
議会事務局	主任	佐藤 知実
議会事務局	主任	田中 璃沙